



Official TEST Report
2016/3/31～4/1 OKAYAMA International Circuit
2nd Official test

桜も見ごろを迎える岡山国際サーキット。ホンダのテストカーを含めた 20 台の SF14 が、開幕前最後となる公式合同テストに集結した。

テスト 1 日目の朝、濃い霧に覆われた岡山国際サーキットだったが、テスト開始前には薄日が差し、時折明るい日差しもあるドライコンディション。ヨコハマタイヤや新ブレーキなどの確認から、ピットストップ、スタート練習、フルタンクでのロングラン、レースシミュレーションや予選アタックまで、実践的なシミュレーションやセットアップの熟成を行うべく、やるべきメニューは多岐にわたり、野尻、バンドーンの両選手はセッション開始早々精力的に周回を重ねる。午前のセッションでは野尻選手が 4 番手。午後のセッションでは、岡山初走行のバンドーン選手が 2 番手に僅か 0.022 秒差の 3 番手を記録した。マクラーレン・ホンダのリザーブドライバーでもあるバンドーン選手は、F1 バーレーン GP とのスケジュール重複のため、初日終了後バーレーンに向かった。

2 日目は一転して冷たい雨模様。野尻選手はヨコハマ製レインタイヤのテストを中心にプログラムを進めたが、温度条件がまだ低いためか、レインタイヤのグリップを思うように引き出せない。他ドライバーも同様なのか、スピン車両が続出し、午前中だけでも 9 度の赤旗中断となった。午後は薄日が差し始めるものの、路面はなかなか乾かず、ドライタイヤで走行出来たのは終盤 45 分ほど。最後の 10 分には全車が予選シミュレーションを行うが、野尻選手は思うようなバランスが得られず 15 番手のタイムで 2 日目を終えることとなった。

40 : 野尻智紀 選手 1 日目総合 6 位 (ホンダ勢 3 位) 2 日目総合 15 位 (ホンダ勢 6 位)

初日は良いもの、悪いもの、新しいものなど、様々にテストし理解できたし、常に上位のタイムを記録できました。しかし 2 日目は良い部分を引き出せないというか、悪い部分の確認ばかりしているような状況になってしまい、タイムにも表現できませんでした。

路温が低い状況と雨の状況におけるセットアップについて、チームと共にしっかりと準備しなければなりません。いよいよ自身 3 シーズン目のスーパーフォーミュラ開幕戦が始まります。F1 デビューしたバンドーン選手と共に飛ばしてゆきます！

41 : ストフェル・バンドーン 選手 1 日目総合 4 位 (ホンダ勢 2 位)

スタート練習や予選アタック、ロングラン、ピットストップ練習など、実践的なトライをできたのは良かったです。岡山は鈴鹿と違って平均スピードは遅いけど、チャレンジングでとても楽しめた。午前中はサーキットに慣れるのに時間を使ったけど、SF マシンに乗るほどに感触は良くなっているし、鈴鹿に向けて心配は何もない。開幕を楽しみにしているよ。